

beyond2020プログラム 認証事業一覧 (平成29年2月28日)

事業名	団体名	期間	場所	概要
神奈川フィルハーモニー管弦楽団2016年度特別演奏会 第11回フレッシュ・コンサート	神奈川県	2017/3/4	神奈川県横浜市	神奈川県ゆかりの若き演奏家にスポットを当て、国内外に発信するコンサートを実施。2015年第31回かながわ音楽コンクールで、ユースピアノ部門最優秀賞、神奈川新聞社・社長賞を受賞した青島周平氏と、2015年第9回ハノーファー国際ヴァイオリンコンクールのセミファイナリストとなった高木凛々子氏を出演者として迎え、公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演を実施。神奈川ゆかりの外国人であれば無料で入会できる「かながわ国際ファンクラブ」の会員を招待。
まちごと美術館ことごと	株式会社バウハウス	2017/2/1～ 2018/1/31	新潟県新潟市	障がい者アートのレンタルを通じて、まちを彩りながら、障がい者の社会的自立を創造する事業。障がい者アートを月額3000円/枚でお店や企業にレンタルする。 ①2016年9月～2017年1月まで、新潟県内21店舗のモスバーガーで「モスごと美術館」を実施。②2017年2月6日～JR新潟駅で「えきごと美術館」を開催。③現在、カフェ・レストラン・銀行・観光案内所・スーパー銭湯などで、まちごと美術館展開中。外国人対応として、公共交通機関、観光案内所、観光施設のアート展示に関して、英仏翻訳対応を実施。
ビッグ・アイ アートプロジェクト 大阪府現代アートの世界に輝く新星発掘プロジェクト (第7回公募展入選作品展) 作品募集2017	ビッグ・アイ共働機構	2017/4/1～ 2018/3/31	大阪府堺市	2011年よりスタート。世界の障がいのある人を対象にしたアート作品を公募し、美術専門家による現物審査で優秀な作品を選出。例年約1400作品(内、約300作品は海外からの応募)の応募があり、障がい者によるアート作品を世界へ発信する機会となる。また、海外作者の招聘や海外での作品展覧会の開催など、国内外の作者やアート団体の交流を生み出す。
ビッグ・アイ アートプロジェクト入選作品展 東京・横浜・大阪会場	ビッグ・アイ共働機構	2017/4/29～ 2017/8/17	東京都渋谷区	「ビッグ・アイアートプロジェクト」の一環として開催。2016年度の作品応募：約1400作品の中から選出された50作品による展覧会を、東京・横浜・大阪の3会場で実施。海外旅行者も含め様々な人々が多く行き交う商業施設も会場とする。さらに「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」も会期中に実施。
ココから照ラス！ ひむか芸術劇場	(株)宮崎放送	2017/3/18	宮崎県高千穂町	アマテラスの岩戸開きで有名な天岩戸神社で、日向神話を今に伝える高千穂の夜神楽と、その神楽に魅せられた歌手でバイオリニストのサラ・オレインの共演。 オーストラリアと日本のハーフで3か国語を話すサラ・オレインが宮崎県内の神楽を紹介するTV番組を今年1月から放送しており、その一環としての取り組み。当日は車いすでの観客にも対応。後日、この模様はTV特別番組として放送。
新たな「美濃和紙」ブランド お披露目会(仮称)	岐阜県	2017/3/21～ 2017/3/23	東京都港区	「美濃和紙」を2020年以降も伝承すべきレガシーと捉え、2020年に向けて、世界に通用する新ブランドの開発を通じた伝統文化の発展に取り組む。今回、その機運醸成を図り、新たな展開の契機とするため、新ブランドのお披露目を国内外5カ所で挙行。受け継いできた精神・技術・機能を伝え、新たな可能性を表現する展示を行い、「美濃和紙(MINOWASHI)」を強力に発信。また、英語併記の「ブランドブック」を制作し、お披露目会場他で配布し、継続的な発信につなげていく。

事業名	団体名	期間	場所	概要
京都文化カプロジェクト 2016 -2020 おもてなしワークショップ	京都市	2017/3/9	京都府 京都市	日本人が大切してきたおもてなしや相手を思いやる心を表現する作法、マナー等について、より考えを深め、今後京都を訪れる世界の人々に日本人のこころを伝えていくことを目的したワークショップを開催。第一部として弓馬術礼法小笠原流次期宗家である小笠原清基氏の基調講演、第二部として観光業務に携わっている方々によるグループディスカッションを行う。会場には車イスを準備するとともに、観覧用スペースを設け、身体障害者の方の参加にも配慮。
川崎大師薪能	川崎大師薪能実行委員会	2017/5/23	神奈川県 川崎市	昭和49年に開催が始まって以来、川崎市内外の多くの人々に親しまれてきた歴史と由緒ある事業「川崎大師薪能」を開催することを通して、一流の能楽師による演能を格式高い会場にて鑑賞する機会を提供するとともに、日本の伝統文化の普及と継承につとめ、地域文化の振興を図る。車椅子に対応し、障害者のバリアを取り除く取組を推進。
ヨコハマトリエンナーレ 2017	横浜トリエンナーレ組織委員会	2017/8/4~ 2017/11/5	神奈川県 横浜市	横浜トリエンナーレは、3年に1度行なわれる日本を代表する現代アートの国際展として、創造都市横浜の発展をリードする。ひらかれた現代アートの祭典として、誰もが多様な表現に触れる機会を分野と時代を横断して提供し、世代等を超えた理解を促進する。 公式ウェブサイトやチケットブースの多言語対応や無料配布のガイドブック及び音声ガイドアプリの日英対応など、海外からの来場者に配慮した取組を進める。無料会場間バスを車椅子やベビーカー対応とするなど、おもてなしの視点を持った来場者対応を実施。
東北風土マラソン&フェスティバル2017	東北風土マラソン&フェスティバル2017実行委員会	2017/3/18~ 2017/3/20	宮城県 登米市	「東北風土マラソン」は、宮城県登米市で開催される宮城県内唯一のフルマラソンコースを含めたファンラン大会。春の東北の田園風景の中を、東北各地の名物グルメを食べ、日本酒の仕込み水を飲みながら、走る楽しみを存分に味わう。一般社団法人世界ゆるスポーツ協会と連携し、年齢・性別・運動神経に関わらずだれもが楽しめる新スポーツ「ゆるスポーツ」の開催を行うなど、大会のバリアフリー化を推進。
間々田のジャガマイタ	間々田のじゃがまいた保存会	2017/5/5	栃木県 小山市	間々田のジャガマイタは、旧暦4月8日（現在は5月5日の子供の日）に、小山市間々田地区で古くから行われてきた祭礼行事。間々田地区の惣鎮守である間々田八幡宮の境内に、各町内の蛇体が集合する「蛇よせ」で祭が始まる。神主による禱を受けた蛇は、口に御神酒がそそがれ、境内社である八龍神社に参ってから本殿を一周し、境内にある池に口を入れて水を飲ませる。その後、「蛇がまいた、蛇がまいた」の掛け声とともに町内を練り歩く。英語対応のチラシを用意。